

東京都城北少年野球大会実施要項 (2023年10月改訂)

〔1〕趣旨

本大会は、東京都の指導を仰ぎ各地域（北区・豊島区・板橋区・文京区・足立区・目黒区・渋谷区・世田谷区・練馬区・新宿区・中野区・杉並区・墨田区・江東区・荒川区・台東区・葛飾区・埼玉県）の交流を促進し、スポーツを通じて少年・少女の体位向上を図るとともに、ルールを守り、規律ある団体行動を促すことによって、社会の良き一員として責任を重んじる少年・少女の育成を目的に実施する。

〔2〕主催

東京都城北少年野球協会

〔3〕大会本部

大会本部は会長宅に置く。

会長 神戸 信 東京都板橋区小豆沢 2-4-8-510 電話 090-4937-3080

〔4〕参加資格

小学生 6・5・4年生にて編成すること。

〔5〕競技進行上の規約

(ア) 大会はトーナメント戦とする

(イ) 試合は6回戦・試合時間は90分とする。(時間優先)

(尚、試合開始時間は主審がプレーボールを宣告した時とする)

(ウ) 試合時間は90分を過ぎると新しいイニングには入らない。但し、勝ち逃げなし。

(エ) 決勝戦は6回戦で試合時間は無制限とする。

(オ) 延長線は次の通りとする。

※6回を完了して同点の場合または90分過ぎて同点の場合、引き続きタイブレーク方式を行う(継続打者一死満塁)。延長2回を完了しても決着がつかない時は抽選で勝敗を決定する。

〔6〕塁間および投手と本塁間の距離

・塁間：23メートル ・投手板と本塁：16メートル

〔7〕選手登録と出場選手の注意事項

選手は名前と学年および背番号を指定の登録票にて提出し、試合はユニフォームと帽子を着用すること。(ジャージも可)

〔8〕 集合とメンバー表の提出

試合開始予定時間の 30 分前に集合し、メンバー表・その他手続きを終えること。

〔9〕 コールドゲームについて

4 回終了後、均等回の得点に 10 点差がついた時。但し、5 回以降は 6 点差とする。
※決勝戦も適用する。

〔10〕 日没または雨天の場合

試合成立は 4 回とする。(3 回以下の場合は再試合として審判が決定する)

〔11〕 ヒットバイピッチ (デッドボール) は採用する。

〔12〕 投手のポークは採用する。(正しく指導する)

〔13〕 金属スパイクは全面禁止とする。

〔14〕 大会使用球は軟式 J 球とし、当協会を用意する。

〔15〕 金属バットの使用は公認 (JSBB) のみとする。

〔16〕 捕手はプロテクター・レガース・ファウルカップを着用すること。

〔17〕 ヘルメットは必ず着用すること。

〔18〕 ベンチは若い番号を一塁側とする。

〔19〕 コーチボックスは、必ず登録選手が入ること。(ヘルメット着用)

〔20〕 先攻・後攻は主将のジャンケンで決める。

〔21〕 投手は 1 イニング 50 球に制限する。

〔22〕 ベンチに入る指導者等について

ベンチに入る指導者は、代表・監督・コーチ (3 名以内)・スコアラー (1 名) の計 6 名以内。
(監督・コーチはユニフォーム着用。代表・スコアラーはチームキャップ着帽のこと)

〔23〕 ファールボールの処理

ファールボールの処理は、右方向は一塁側、左方向は三塁側、バックネット方向は攻撃側の登録選手が処理すること。

〔24〕 ファウルエリアのボールデッドのテイク

投球がボールデッドラインを出た場合はテイクワンとし、送球の場合はすべてテイクツーとする。

〔25〕 準備投球時の諸注意について

- ・準備投球は原則、試合開始時：7球、投手交代時：5球、イニング交代時：3球とする。
但し、球審のワンモアピッチコールまでの準備投球数は、上記の球数に限らない。
(球審のプレイコールに時間を要する場合などの処置として)
- ・準備投球時に出場捕手が準備をしている間、控え捕手が投球練習を受ける。
(マスク・レガース・プレテクター着用のこと)
- ・控え捕手が準備できていない場合は、守備側の三塁手がマスクを着用し準備投球を受ける。
(スムーズな試合進行にご協力願います。監督・コーチの捕手は選手主導の見地から禁止です)
- ・攻撃側チームは、準備投球に合わせてベンチ内外でスイングをしない。(相手選手へのマナー)
- ・準備投球時に次打者は、ネクストバッターサークル内で待機すること。
(相手選手へのマナーとして、バッターボックス付近に立たないこと)

〔26〕 アピールは、監督・主将および当該選手のみとする。

但し、ジャッジメントについては認めない。

〔27〕 タイムの要求

監督・コーチがベンチ内から要求し、速やかな指示をすること。(遅延行為にならないように注意)

〔28〕 グラウンドルール

試合グラウンドによる特別ルールが設けられた場合は、審判員の権限で処理する。

(両チーム監督に報告すること)

〔29〕 スポーツマン精神に反する行為の禁止。

試合中の大声での暴言・ヤジ・スポーツマン精神に反する行為や行動は禁止します。

審判団の注意を聞かないときは、退場させる場合もあります。

また、監督・コーチ以外の観客席からの選手指導の声かけは全面禁止とします。

〔30〕試合中の写真・動画撮影の注意事項

バックネット裏からの撮影は禁止です。(特にネットや支柱へのカメラ装着はしないこと)
ベンチ内からの撮影は禁止です。(ベンチ内からスマホ・カメラ撮影はしないこと)
グラウンドエリア内(ファウルゾーン含む)での指定業者以外の立ち入り撮影は禁止です。
(相手チームへのマナーおよび試合進行の妨げにならない様、ご注意ください)

〔31〕その他のルール

当該年度の軟式公認野球規則を適用する。

〔その他の注意事項〕

- ※審判員は協会帽・審判服またはジャージー(黒/紺)とし、野球ユニフォームは禁止します。
- ※本大会は、東京都教育員会の後援ならびに東京新聞社・東京中日スポーツ新聞社・J:COM社・フィールドフォース社の後援と、チャイルドスターSP社の協賛をいただいております。
- ※本大会は、唯一他地域のチームと対戦ができることと、特に選手・指導者・観戦者の方々に敬意を払い、スポーツマンシップに則ったマナー重視の大会を目指しております。

今後とも、各チームの皆様方のご協力をいただきながら運営してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

〔補足として〕《審判についてのお願い》

- ・各チームより審判員2名を選出し、試合会場に到着次第本部までお申し出ください。
- ・若い番号のチームで「球審・2塁審」を行い、
後ろ番号のチームで「1塁審・3塁審」をお願いいたします。

・

第一試合⇒第二試合のチームで前審判を行う。

- ・第二試合⇒第一試合のチームで後審判を行う。
- ・第三試合⇒第四試合のチームで前審判を行う。
- ・第四試合⇒第三試合のチームで後審判を行う。
- ・第五試合⇒第四試合の勝者と大会本部で協議の上で審判を行う。

※審判員は協会帽・審判服またはジャージー(黒/紺)とします。

東京都城北少年野球協会
役員一同
(2023年10月改訂)

大会運営上の規約

- 〔1〕 各チームともに会場の行き帰りは必ず引率者（成人）の同伴を受けること。
- 〔2〕 万一不慮の事故が起きた場合、当協会は一切の責任は負いません。
- 〔3〕 開会式は原則として行いません。
- 〔4〕 閉会式は最終日の出場チームで実施します。
- 〔5〕 雨天の場合は必ず各チームの責任者より連絡を取ること。

★雨天の場合

午前7時に決定します。

連絡先：運営委員長：下山 進

F A X：03-3911-4859

携帯：090-2532-8695

協会：070-5585-2808